

今支館・分館では

『区民の融和と絆を 目指して』

— 和田分館 —

和田分館長 小田中 茂



先ず和田区の状況を申し上げますと、世帯数は896戸と市内最大規模であり、人口も2050人というマンモス区であります。

しかし、大規模なりに様々な問題も多く、和田分館としても、その事業運営に困難さもあります。特に問題は、大きな区特有の事象である区民同士の連携や融和が、とかく希薄になりがちなことです。

このため、この状態を少しでも解消すべく、年間を通じて出来るだけ多くの区民が交流できる場を設定することが肝

心と考え、現状では次の様な事業を展開しています。

❖ 日帰りバス旅行（春・秋）

（会費制だが飲食物提供）

❖ 親睦ゴルフ大会（春・秋）

（プレイ代個人、賞品提供）

❖ カラオケを楽しむ会

（若干の会費で飲食提供）

❖ 夏祭り（盆踊り大会）

（模擬店・景品抽選あり）

❖ 敬老会（70才以上招待）

（地元区民等の演芸あり）

❖ ファミリー・スポーツ大会

（新種のゲーム等4種目）

❖ 区民文化祭（作品展2日間）

（毎年160点程出展あり）

❖ 伝承教室12月・試食会も

（4種目〓そば打ち・しめ飾り・餅つき・お手玉作り）

❖ 人権懇談会

（生活の中の人権問題）

❖ 和田分館報の発行（年2回）

（カラー印刷8P建950部）

❖ 役員研修会（日帰り年1回）

ざつと以上のような内容で、

常にマンネリ化防止に配慮し、

人集めに努力をしています。が、

御多分に漏れず大変な難題で

あると認識しています。

和田区のサークル

【童謡唱歌を歌う会】

私達「童謡唱歌を歌う会」は、現在会員数40名余り、毎月第1・3木曜日午前、角田守生先生の御指導の下、童謡唱歌はもちろん、若かりし頃に流行した歌、先生が選んで下さった合唱曲などを楽しんでいます。

平成27・28年の敬老会には日頃の練習成果をステージでご披露することも出来、一同励みに思っている所です。敬老会では参加者全員で歌った時の男声が素晴らしく、歌う会にも男性の参加が実現すれば、混声合唱も夢ではないと期待が膨らみます。

私事ですが、4年程前この地に転入し、程なく、この会に入れていただきました。見



角田先生のお話に傾聴!!

知らぬ土地で、交流が随分と広がり、幸運なことでした。今後も歌を楽しみながら、地域に親しんでいきたいと思っております。

三浦 節子



作品づくりに夢中

【くるみの会】

キルトサークルを始めて2年の歳月が過ぎました。好きな仲間が集まり月1回の楽しみです。針を進めるかたわらおしゃべりをしたり、「布は何がいいか」「色は何にしようか」「作品を何にするか」等々話し合いながらやっております。

秋に区で行われる文化祭を目標に、一年間に出来あがった作品を発表会としてがんばっています。

甘利 洋子

【めだかの広場】

春風が心地よい季節になりました。この会は住み慣れた地域で何時までも元気に暮らし、認知症予防に繋がるのではと平成27年11月から、月に2回開いております。身近な支え合いの場として区の研修センターを利用し、飲み物と館を用意し地区の誰もが参加できるお茶飲み会です。主におしゃべりが中心ですが、桜の頃には外に出てお花見、七夕には短冊に願いごとを書きまた季節の歌をうたったり、幼い頃を思い出し、ぬり絵に親しんだり、ときには和菓子やケーキでお茶を楽しみます。最近では小諸シヤンシヤン体操を始めてみました。接待ではなく『参加者がいろいろな話に花を咲かせ元気になる』、そんな広場にと願っております。

竹花フサ子



楽しく皆でお茶会